

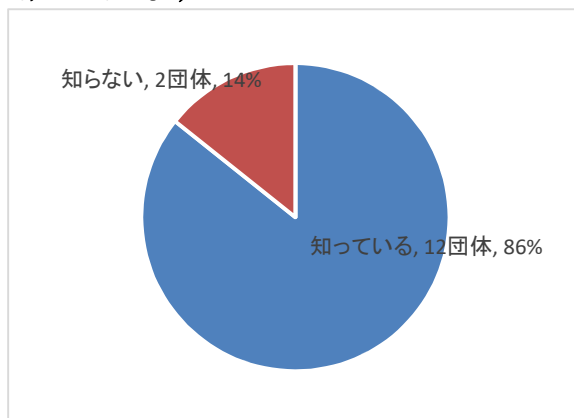
令和5年度市民団体協働事業に関するアンケート結果

◆対象団体:アルザフォーラム2023 ワークショップ参加団体

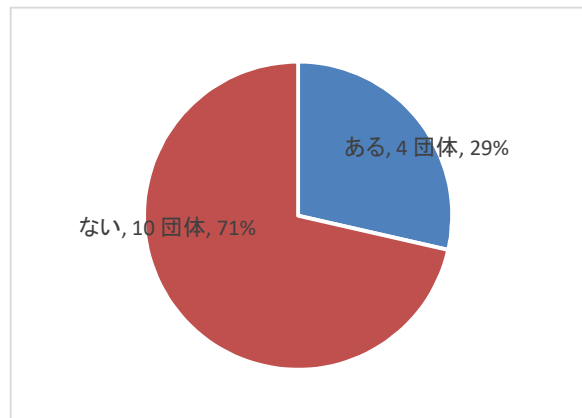
◆依頼団体数:20団体

◆回答団体数:14団体

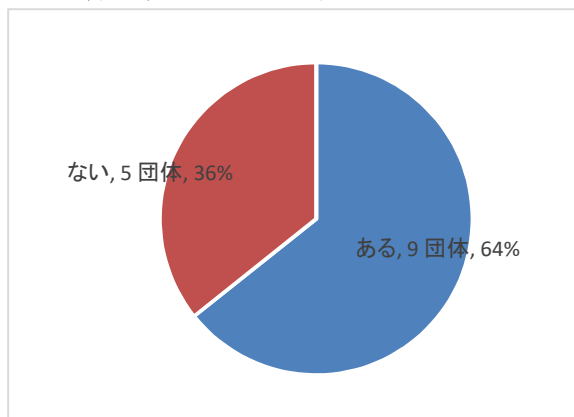
問1 男女共同参画市民団体協働事業について知っていますか？



問2 事業を実施したことはありますか？



問3 事業に興味はありますか？



問4 事業に応募する場合、貴団体で問題になることは何ですか？

- 人手が足りない
- 企画が困難
- 参加者の集客が難しい(1回あたり15人以上の参加を確保するのが難しい、集客に時間を掛けられない)
- 手続きが面倒(申し込みが大変)
- 事業内容が事業に当てはまるか不明
- 初回分の企画は間に合うが、3回分となると申込締切までに企画が固まりにくい
- 応募するメリットがない
- 委託金額の上限が低い

問5 事業に応募する場合、募集内容で問題になることは何ですか？

- 15人以上の参加を見込める事業は困難(思い切った企画ができない)
- 構成員5人以上が難しい
- 団体内で検討する必要があるので、募集期間にゆとりを持ってほしい
- 12月が事業決算のため、次年度計画に盛り込むためには、それまでに計画案を策定することが必要だが採択されるかどうかは別として、次年度に同事業が予定されているかどうかを早い段階で知る機会があると良い
- 途中の計画変更がどの程度認められるのか不明であるため、3回目の企画が整っていない段階で諦めている

問6 この事業に参加するために、どのような事業があれば良いと思いますか？
団体活動に役立つ事業はありますか？

- 主団体の中にブースなどとして参加するような形があると参加しやすいように思います。
- ファシリテーション講座
- 過去に採択された事業の例の一覧があると、企画のイメージが作りやすいと思う
- 説明会や講座ではなく、申込みや途中のフォローなどのYouTube動画
- 活動目的、活動内容が似ている複数の団体が協力し合うのはいかがでしょうか？
- 行政と協働して、子どもの人権に関わる統計をとりたい。

問7 その他、ご意見がありましたらご自由にお書きください。

- 過去に数回応募しましたが選考もれとなり、最近では応募しておりません。
- 参加した人から手続きが大変だったと聞きました
- 委託経費をいただくより、自前で実施した方が簡便なので、自前で事業展開しています(申請して、審査を受けて、報告書を提出するのが煩雑な為)
- 「官と民」それぞれの得意分野を活かす事のできる「協働」であれば目的達成が可能だと思います